




全身麻酔で手術を受けられる患者さんへ

様 (硬膜外麻酔がある場合は別紙を参照して下さい。)

私たちは、みなさまが安心して手術を受けられるように、このしおりでご案内します。

*手術室の看護師は青色の服を着て、帽子とマスクをつけています。顔がわかりにくいと思いますが、かならず受け持ちの看護師がお世話をしますのでどうぞご安心ください。

病棟を出られてから集中治療室にもどるまで

手術室に来られるまで	手術室に入ってから麻酔がかかるまで	麻酔がかかってから手術が終わるまで	手術中	手術が終わってから病棟に戻るまで
<p>手術前日か当日に手術室で担当する看護師がお部屋へごあいさつにうかがいます。</p> <p>手術の前でいろいろと不安なことがあるかと思えます。不安なことやわからないことはなんでもお聞き下さい。</p> <p>手術室はB棟2階にあり、ベッドで降りて来ていただきます。ここで担当の看護師が待っています。(場合により、歩いて来ていただくこともあります。)</p>  <p>担当の看護師がお名前を確認します。</p> <p>帽子をかぶっていただきますので、髪が長い方は首の辺りで2つにわけてまとめておいてください。</p> <p>点滴は病棟からしてきていただきます。病棟でされていない場合は手術室でさせていただきます。</p> <p>手術台に移っていただきます。ベッドがせまくなるのでくれぐれも気をつけてください。</p>	<p>手術をする部屋に移動していただきます。</p> <p>手術着は必要に応じて脱いでいただきます。</p> <p>部屋には見慣れない器械・天井には大きなライトがあり、音楽が流れています。好きな音楽があればCDを持参していただいても結構です。お部屋は暖かくさせていただいていますが、寒い・暑いなど遠慮なくおっしゃってください。</p> <p>血圧測定用のマンシエットを巻きます。</p> <p>心電図のシールを3～5枚胸に貼ります。</p> <p>身体の中にある酸素の量を測るための器械を指先につけます。</p>  <p>【声をかけながら処置・準備を行いますので、わからないことや心配なことがありましたら、どんなことでもおっしゃってください。主治医・看護師がそばにおります。】</p>	<p>いろいろな準備が終われば、いよいよ全身麻酔が始まります。</p> <p>酸素マスクが顔にあたります。(身体の中の酸素をできるだけ多くするためです) ゆっくりと大きな呼吸をしてください。</p> <p>点滴のところから麻酔の薬が入り、次第に眠くなります。なんとかお名前をお呼びします。</p> <p>眠られてから口から管を入れます。</p> <p>麻酔がかかってから尿を出すための管を入れます。</p> <p>手術をするための姿勢をとります。じっと寝ていて腰や肩、足など痛いところがある場合や動かしにくい、動かすと痛い部分がある場合は遠慮なく教えてください。</p> 	<p style="writing-mode: vertical-rl; color: magenta;">手術中は麻酔がかかっているため意識はありません。</p>	<p>手術が終わりましたら、麻酔を覚めます。お名前をお呼びしますのでわかれば目を開けてください。そのほかに「目を開けてください」「手を握ってください」など声をかけますので、ご協力お願いします。(麻酔から覚めておられるかどうかの確認をしていきます)</p> <p>麻酔がしっかりと覚めて、しっかりと大きな呼吸ができるようになれば口から入っていた管がぬかれます。ぬいた後もしっかりと深呼吸をしてください。</p> <p>疲があれば、飲み込まずに外へ出すようにしてください。</p> <p>しっかりと深呼吸ができるようになれば病棟へもどります。</p> <p>病棟へもどるときには尿の管・点滴・鼻の管・傷口近くに管が入っています。</p> <p>血圧計や心電図・指先の器械を取ります。</p> <p>入ってこられたときに移動したところで手術台から病棟のベッドに移動して頂き、病棟へもどります。</p> <p>口の管がぬけた後、しばらくはのどがイガイガしますが、管が通っていたためです。心配ありませんが、気になる事は何でもお知らせ下さい。</p>